



学校便り

高甫っ子

令和2年1月10日

NO 18

須坂市立高甫小学校

文責 黒岩

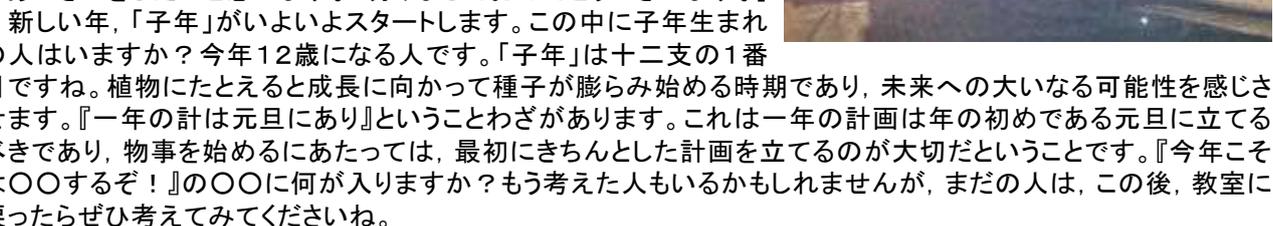
【学校教育目標】 明日の日本をになう子ども たくましく かしく ほがらかな 高甫っ子

3 学期始業式

校長講話

皆さんおはようございます。今年のお正月は雪もなく、比較的暖かく穏やかな一年のスタートとなりました。これは元旦の高甫小学校です。「初日の出」です。つまり、高甫の地に「歳神様」がやってきました。さて、皆さんの家にも無事「歳神様」がやってきましたか？では、みんなが良い年を迎えることができたということで改めてみんなであいさつをしたいと思います。「明けましておめでとうございます。」

新しい年、「子年」がいよいよスタートします。この中に子年生まれの人はいいますか？今年12歳になる人です。「子年」は十二支の1番目ですね。植物にとると成長に向かって種子が膨らみ始める時期であり、未来への大いなる可能性を感じさせます。『一年の計は元旦にあり』ということわざがあります。これは一年の計画は年の初めである元旦に立てるべきであり、物事を始めるにあたっては、最初にきちんとした計画を立てるのが大切だということです。『今年こそは〇〇するぞ！』の〇〇に何が入りますか？もう考えた人もいるかもしれませんが、まだの人は、この後、教室に戻ったらぜひ考えてみてくださいね。



3学期のスタートにあたって「樽の中のワイン」という話をします。

フランスの田舎で何十年も小学校の教師をしていた一人の先生が、学校をやめて自分の故郷に帰ることになったそうです。それで村人たちが自分の子どもたちがお世話になったので、何かプレゼントをしようとお話しました。そして、村の名産であるワインを、みんなコップ一杯ずつ持ち寄って贈ろうということになったそうです。村の広場の真ん中に大きな樽をおいて、それぞれがワインを持ち寄ってみんなでいっぱいになりました。いっぱいになったので封をして先生に贈りました。先生は村人たちの思いがけない贈り物にたいへん喜んでお礼を言いました。先生は、ふるさとに帰って2、3日後に樽をあけて飲んでみました。すると不思議なことが起こりました。ワインだと思っていたのに、樽の中は水にかわっていたそうです。先生はまるで狐につままれたようで訳がわかりませんでした。

どうしてワインが水になってしまったのかわかりますか…？村人たちは、それぞれコップ一杯のワインを持ちよって樽いっぱいになるようにしたのでしたね。ところが、自分一人ぐらい水を入れたってわからないだろうと、村人の中に約束を守らない人がいたようですね。それもAさんだけでなくBもCもDもEも、いや村人全部がそんなふうに考えて水を入れたので、樽の中は、はじめっからワインではなくて水だったのですね。もし、皆さんならどうしますか？自分一人ぐらい水を入れたってたいしたことないだろうとこっそり水を入れますか。たぶんだれが水をいれたかわからないと思います。一人や二人ではワインが水にかわることはなかったと思います。でも、自分だけだと思ってやったことをみんながやるとプラスのものがゼロになってしまいますね。もし、この時、「村人の中に約束を破る人がいるかもしれないが、俺だけはワインを入れることにしよう。」と、一人一人みんなが考えたらどうでしょう。樽の中は完全にワインになっていたでしょうね。

これはとても大切なことで、他の人がどう考えようと自分が正しいと思うことを自分の責任で実行するということが大事ですね。昨年の「高甫まつり」で、最後に全校で「みんななかよし」を確認しました。そして4つの約束をしましたね。昇降口にも貼り出されていますね。①くつのかかとをふまない。②自分から進んであいさつ。③ピカピカしっきりせいそう。④ろうかは走らない。さて、この4つの約束を破っている人はいませんか？自分一人ぐらい守らなくてもいいと思っている人はいませんか？違うですよ。みんなが守るのが当たり前なんです。高甫まつりには来入児のみなさんも参加していたね。来入児の皆さんも4月になると本校に入学してきます。みんながきちんと約束を守っていると思っていますよ。昨年、流行した言葉に「ONE TEAM」と言うのがあります。みんなの力で「みんななかよし」となるようにしましょう。合い言葉は「ONE TAKAHO」ですよ！



3学期は登校日数48日です。長いようでいて意外と短いですよ。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」というように、3学期はいろいろな行事があるために忙しくてあっという間に過ぎてしまいます。6年生の皆さんは、48日目にこの高甫小学校を卒業するわけですね。6年生を中心に考えられたこの4つの約束をきちんと守れるように全校で挑戦しましょう！今年一年の重点である「ぴかぴかせいそう」「わくわくべんきょう」「にこにこあいさつ」が、「高甫の誇り」になるようにみんなで力を合わせましょうね。自分一人ぐらいではないですよ。



冬場の体力づくり

スポーツ庁は昨年
末、2019年度の小中
学生の「全国体力・運動能力、運動
習慣等調査」(全国体力テスト)の結
果を公表しました。50メートル走や
立ち幅跳びなどの8種目を点数化し
た体力合計点は小中学校の男女と
もに前年度よりも下まわり、小学校
男子は08年度の調査開始以降過去
最低を記録したということです。

本校では、今年度より体育集会
を月2回に増やしました。特に冬場
は、降雪のため屋外で体を動かすことが減り、運動不足になりがちです。1月は縄跳びを行っています。体を動かすと血の巡りがよくなって、体もポカポカしてきます。今年は今のところ雪も少なく、校庭で体を動かす機会が多く、子どもたちも元気に走り回っています。



校舎内に子どもたちの元気な
声に戻ってきました。廊下には書
き初め展示されています。



ヤマメが孵化してから一月
以上たち、だいぶ成長しまし
た。冷たい水の中でも元気に
泳いでいます。前回よりもた
くさん生き残っています。

MIM研修

最近、音読を苦手にしてい
る子が増えています。それ
は、特殊音節(促音・長音・拗
音・拗長音)がしっかり身につ
いていないからです。

そこで、音の視覚化・音の
動作化・説明用カード・拗音さ
んかくシートを使って、特殊
音節を身につけようというの
がMIMです。先日、職員研
修を行いました。

「僕(私)はほく(わたし)だから」

本校では、3学期のスタートにあたって「命
をみつめる旬間」を行います。この活動を通
して、児童一人ひとりが、人権や命の尊さ
を感じ、自尊感情を高め、認め合い、支え合う
学級・学校にしていこうという気持ちを育て
るねらいがあります。

1月15日には、かたくりの会の皆さんに
よる読み聞かせの会、1月24日には、性
に関する授業参観を予定しています。お家でも
子どもたちが生まれた時のことについて話題
にしていただければと思います。

命をみつめる旬間



6年 アートマイルプロジェクト



昨年の暮れに、須坂市人形博物館においてアートス
マイルプロジェクトの下書きを行いました。「ギニア」の
応援旗を作成しています。

PTA総務部・指導顔合わせ会

今年度のPTA活動も残すところあと3ヶ月となり
ました。今日まで役員として活動していただきました
皆様には感謝申し上げますと共に、もうしばらくよろし
くお願いします。

さて、1月9日(木)に新総務部・指導部役員の皆さん
にお集まりいただき、顔合わせ会が行われました。
来年度に向けて準備も少しずつ始まりました。